

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について
(平成24年11月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成24年11月に適用する1㎡当たりの単位料金を、平成24年10月検針分に適用の料金に比べ0.08円(消費税込)下方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、平成24年11月検針分の単位料金は、平成24年6月から平成24年8月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に34㎡(45MJ/㎡)のガスをお使いになる標準家庭で、平成24年10月検針分に比較して、3円(消費税込)ガス料金が下がります。

供給約款料金表			(消費税込)		
	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/㎡)		基準単位料金 (円/㎡)
			平成24年11月適用 単位料金(円/㎡)	平成24年10月適用 単位料金(円/㎡)	
料金表A	0㎡から20㎡まで	777	175.44	175.52	166.37
料金表B	20㎡をこえ50㎡まで	1,269	150.82	150.90	141.75
料金表C	50㎡をこえ200㎡まで	1,558	145.04	145.12	135.97
料金表D	200㎡をこえ450㎡まで	3,068	137.49	137.57	128.42
料金表E	450㎡をこえ750㎡まで	5,156	132.85	132.93	123.78
料金表F	750㎡をこえるもの	10,354	125.92	126.00	116.85

標準家庭における影響			(消費税込)
1か月のご使用量	平成24年11月検針分の料金	平成24年10月検針分の料金	影 響 額
34㎡ (45MJ/㎡)	6,396円	6,399円	▲3円

原料価格の変動	
基準平均原料価格 (a)	41,190 円/t
平成24年6月～平成24年8月の 平均原料価格 (b)	52,060 円/t
LNG価格	72,690 円/t
LPG価格	60,000 円/t
差 額 (b－a)	10,870 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(41,190円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.084円(0.080円に1.05(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が65,900円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は65,900円としてガス料金の調整を行います。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	72,690 円/t	×	0.6745
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	60,000 円/t	×	0.0505
			52,059.405 円		
			↓ (10円未満四捨五入)		
			52,060 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 41,190円/tからの変動額)

$$52,060 \text{ 円/t} - 41,190 \text{ 円/t} = 10,870 \text{ 円/t}$$

$$\downarrow \text{ (100円未満切り捨て)}$$

$$10,800 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 10,800 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.084 = 9.072 \text{ 円}$$

$$\downarrow \text{ (小数点第3位以下切り捨て)}$$

$$9.07 \text{ 円}$$